Growing

Topic

COLUMN：先生紹介

スケジュールシートを使いこなせていますか？

佐藤 大祐（今津教室）

皆さん、はじめまして。4月から今津教室で非常勤講師をさせていただいている佐藤大祐（さとうだいすけ）です。私は中学二年から受験まで開智でお世話になりました。そして、大学生となり、教える立場になったことで中学時代に「こうしていれば良かった」と思うことがいくつかあるので、そのうちの1つを伝えようと思います。それは「スケジュールシートの活用の先」です。私が開智に通っていた時もスケジュールシートがありました。しかし、私は提出があったので「計画」を立てることはできるようになりましたが、実際に「計画」通りに進むことはありませんでした。私と同じような子を開智でよく見かけます。それを解消できる方法は「今日をもう一度やり直せるならば」を考え、書くことです。今日のスケジュールを見直すんです。「スケジュール」通りに進みましたか？その通りに進んだならば、見直すその時間にも自己効力感（自分はできる！！感）は高まります。その通りに進んでいないならば、「もう一度やり直せるならば」を考えましょう。なぜその通りに進まなかったのでしょうか？

●そもそも、その時間にできる「量」の把握が間違っていませんか？

●スマホ、インターネットとの付き合い方はどうでしたか？

●音楽を聴きながら、何か動画を流しながら進めませんでしたか？

「英単語30個覚えるのに30分ではなく、スケジュールに40分取っていれば満点が取れた。」このような形です。毎日の「やり直せるならば」は書けば書く程、自分の勉強の量の精度が高まっていきます。もし「計画」の精度が高まれば、受験期などに1ヶ月の「計画」を立てる時も無謀なものになることを防げます。これを続けると曜日によっての勉強の進め具合が変わってくることも分かるでしょう。「週末に近づくと、疲れがたまるから「量」はそれ程できないなあ。」「部活のある日の進め具合と、部活の無い日の進め具合は変えないといけないなあ。」などです。そのためにはやはり書かないといけません。その時の「気づき」「思考」をいつでも呼び戻せるようにしておくのです。そして最後にこれは「反省」ではありません。反省を書くと、どうしても心はマイナスに引っ張られてしまいます。そうではなく、「明日は絶対に成功する！」というプラスの気持ちで書いてください。そうすることで勉強が良い方向に進んでいくはずです。ぜひ試してみてください。

ルイージのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE

ルイージ・イルストレ（かいち学童）

私の内に誕生した『父親の愛』

私の父は今年の4月、病に倒れてこの世を去っていきました。その時、私の妻は妊娠中でした。私は4人兄弟の長男ですが、父親としての育児について色んなアドバイスを聞いてみたり、またどういう風に思うのか、父親とはどういうものなのか、もうすぐ娘が生まれてくるのに、その事を聞けないまま父が亡くなり、会えなかった事が本当に残念でした。

しかし「神様は私達に良いことしか与えない」という信仰を持って前向きに生きていこうと決めました。神様は私達を色んな状況下に置かれます。大事なことは、神様は良いことしか与えないという事を信じるのかどうか？

この1年の間に、私は結婚をして、父を亡くして、9月には娘が生まれました。どんなことが起きるとも限らず、すべては良いことだと思いながら娘の誕生を迎えました。病院ではコロナ対策のため、立ち合い出産はできませんでしたが、看護師さんが妻の出産中にビデオコールできるように携帯電話をセットアップしてくれました。陣痛が強くなってきている時、痛みに耐えられない妻の姿を見てどれほど感動したことか、自分でも気付かないうちに私は泣いていました。尊敬する妻は私より強く、娘が生まれる迄すべてに耐えられるよう頑張ってくれました。生まれてきた娘の初声を聞いた瞬間、「もう父親だ！」「これからもっと楽しいぞ！」先生も「この子の声は大きいなぁ！」と喜んでくれました。カメラには妻の顔だけが写り、子供の顔や体、どんな赤ちゃんかはまだハッキリとはわかりませんでした。ただ、泣き声を聞きながら、「間違いなく私の子だ」と確信しました。その後も早く見たいのに、時間が経っても妻に赤ちゃんを抱かせず、見せてもいないので「どうした？」「何か問題がありますか？」と妻に尋ねました。実は妻は24時間近く陣痛が続いたので陣痛促進剤を打ちました。長いお産だったので赤ちゃんがおなかの中で羊水をたくさん飲み込み、そのせいで十数回も吸引されたのだそうです。それでようやく、娘が妻に渡されました。泣き止まない娘を見ながら、私は何でもない者なのにこんなにも尊い子を授かり、心から神様に感謝しました。そして、その時から色々とわかってきました。

親が子供を思ってする育児に、正しいも間違いもありません。親の心は子供のためならすべて良い事に繋がるのだと。学童を担当させてもらっていますが、大勢の生徒と長い時間を共に過ごします。生徒達の性格はそれぞれ違いますが、「どうやって育ってきたのかな？」とたまに思ったりします。かいち学童で今まで愛情たっぷりに子供たちと接してきましたが、これからは『父親』としての心も加えて子供たちを指導していこうと思います。

親とは簡単なものではありません。子供が生まれてから休みなく面倒を見て、育児も考え続けなければなりません。子供が大人になっても、親は死ぬまで親であり、いつだって子供たちの事を考えます。最近の我が家の様子は、娘メインで寝る、母乳を飲んで、おむつを交換して、泣いての繰り返しですが、娘が我が家を爽やかな雰囲気にしてくれています。父親であることは、楽しさだけでなく難しさも伴います。私は娘をこの世界に備える父親になりたいと思います。必ず、神様が子供を育てる知恵を与えてくださると信じています。娘の育児を考えると、私には不足している部分がたくさんありますが、神様は良いことしか与えないという信仰を持って娘を育て家庭を守っていきたいと思います。

私たちの愛しい娘、エリ・ルイです。
エリはママの名前「Berry →Eri」 ベリーに由来し、日本語で「恵み」を意味します。おじいちゃんのニックネーム「Louie」から、彼を偲んでLuiを取りました。私たちは、日本語で「偉大さ」を意味する私の[Luigi→Lui」からつづりをとることにしました。エリルイと組み合わせると、「大いなる恵み」を意味します。

カイチからのお知らせ

- ■11月上旬より期末模擬テストを各教室で実施します。
- ■11月13日（日）は中学3年生対象の五ツ木模試が実施されます。
- ■12月3日（土）に珠算競技大会を実施します。代表に選ばれたみんなは教室の代表としてがんばってください。
- ■11月28日（月）・29（火）は小学部の診断テストの予定です。
- ■受験生にとって大切なテストが続く中、コロナウイルス患者数の増加が心配です。マスクに手洗い、うがいを徹底していきましょう。
  インフルエンザ予防接種も忘れずに。

<受験生を持つ保護者の皆様へ>
11月はテストが続き、精神的に不安定になる生徒達も出てくる時期です。心配やご相談がある時は、遠慮なく各教室にご相談ください。

発行／株式会社 開智総合学院　〒536-0004 大阪市城東区今福西2−1−8モデラートWASHIMI201　TEL.06-6939-0008

Growing

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター

November 2022 Vol. 122
毎月10日発行

【本　部】
城東区今福西2−1−8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

期末テストに向けて その学習法は合ってる?!

高木 秀章（塾長）

いよいよ11月。受験生は本格的な追い込みに入ってきました。連日のテストによるテスト。順調に推移していれば良いですが、テストが返却されるたびに気持ちが浮き沈みし一喜一憂してしまうのではないでしょうか。でも、こんな時こそ、先のことを考えるのではなく足元を見る。テストの結果で「志望校に行けないのでは?」「不合格になるのでは?」と不安になるのではなく、今日すべきことに集中してください。心配すればするほど皆さんの学力が伸びるのならどんどん心配すればいいと思います。でも、皆さんの学力を伸ばすのは「今ココ」の努力です。不安になって立ち止まりそうな時は、「エイ!」と気力を振り絞って机に向かう。そして、すべきことをしたら、「大丈夫」と口に出してぐっすり眠ってください。「今ココ」の努力を重ねる。その積み重ねの先に必ず、合格はあります。

中3生は追い込み時期。
みんな頑張ってます!

中1・中2の皆さんは、2学期の中間テストが終わりましたが、成績はどうでしたか?
「良かった!」と言える人もいると思いますが「イマイチだった」人も多いのではないでしょうか。中1は学習内容が本格的に難しくなり学年平均が大きく下がりました。よって、テストの点数が下がった人が多いはず。また、中2は数学では連立方程式の応用、一次関数、英語は不定詞、理科では天気や電流など、中学学習内容屈指のつまずき箇所のオンパレードです。またクラスやクラブなど環境にも慣れ、中だるみの時期でもあります。

ただ、これはチャンスでもあります。周りを見ると、やはり「勉強嫌だな・・・」と言っている友達がいるのではないでしょうか。皆さんがそのように感じるということは、他のみんなも同じように感じているのです。だから、あえて頑張ってみる。むしろ、やってやろうと気持ちを切り替えるだけで、大きな飛躍のチャンスになります。

でも、ここで重要なことが「学習方法」。いくらやってみようと思っても正しいやり方で勉強しなければ成果は出ません。11月下旬から始まる期末テストに向けて、今回のGROWINGでは各教科の学習方法について書いていこうと思います。

<数学>
テスト範囲の学校のワークを間違い直しまできちんとやってください。ここで重要なのは「質問」です。先生の経験で絶対的に言えることは、質問する子は必ず伸びます。理解できるまで諦めずに質問すること。そして、質問した問題は一人で解けるように練習することがポイントです。次に塾で演習する学校の過去問題の点数を付け、何点取れるか確認してください。ここでも間違い直しと、質問を徹底すること。数学は、学校のワークと過去問題の演習、間違い直し、質問の徹底で必ず伸びます。

<英語>
まず塾の単語テストで、テスト範囲の単語を覚えます。どうしても単語が覚えられない人は先生に相談してください。次に塾の「本文プリント」。本文プリントはUNIT毎に演習しますが、演習前に該当UNITの塾ノートをしっかり読み、間違えそうなところを色ペンでチェックしながら、すらすら和訳できるまで読み込んでください。(和訳が上手くできない人は先生に相談すること。)この時、ノートの読み方が甘い人が多い。きちんとノートを読み本文プリントを×3コまで徹底的にやることで英語は伸びます。これらができた人は学校のワークや、特に塾ワークの「ユニットのまとめ」で何点取れるかを確認します。ここでも、間違い直しと質問が大切です。

もっと詳しい学習方法を知りたい人は各教室で
「カイチ流学習法」の冊子をもらって読んでみよう!

<理科・社会>
まずは、一問一答です。一問一答は1ページごとに丸付け、間違い直しをして、そのページの問題を1から解いて満点になって初めて次のページに進みます。この時、先生が気になるのは一問一答を理解せずに丸暗記している生徒がいることです。このような人は絶対に成績が伸びませんのでやめてください。内容が理解できないのなら、該当箇所の塾のテキストや教科書で調べる、もしくは先生に質問して解決すること。この要領で、丁寧に1ページごとに学習し1冊終了したなら、最後に1冊を通してテストをしてみましょう。1冊で×が5個以内なら合格です。ここまで学習ができたなら、学校の問題集や過去問題をドンドン解き、暗記した知識を定着させ、繋いでいきます。この作業は一問一答集暗記より楽ですが、効果はスゴイ。解けば解くほど、100点に近づいていきます。一問一答を丁寧に解き、仕上げの問題集・過去問題演習。ぜひ試してください。

<国語>
国語は学校の先生の主観でどこが出題されるかは様々です。そこで効果的なのが、学校の先生のノートを教科書に書き込むことです。すると、書き込みが多い箇所が、先生が力を入れて教えた場所ですので出題箇所が一目瞭然になります。このようにノートの内容を書き込んだ教科書をテストまでに5回以上は読みましょう。(できれば声に出して。ノート箇所は先生になったつもりで説明するように)読んだ後は該当箇所の塾の本文プリントを解きます。本文プリントで間違えた箇所は、また教科書に解説を書き込みます。こうやって教科書を自分オリジナルの参考書に育てながら、その教科書を読みこむのがポイントです。もちろん、テスト範囲に書かれている学校の漢字プリントや文法プリント、国語便覧類もしっかり確認しておきます。

このGROWINGが出る頃にはちょうど定期テスト2週間前の3時間自習が始まる頃だと思います。「あーあー、テスト前かー」という気持ちもあるかもしれませんが、「いっちょ、この2週間、本気で頑張ってみよう」と気持ちを切り替えてみてください。たった、2週間。テストが終われば思い切り遊ぼうが、ゴロゴロしようが構いません。でも、この2週間は我慢してみてください。そうすると、1日1日、勉強を重ねるごとに静かな充実感とともにやる気が沸いてきます。今の子は無気力だとよく言われますが、無気力な子なんて実はいません。大切なことは、「いっちょ、やってやろう」と腰を上げてみることです。正しいやり方で学べば必ず成果は出ます。先生達も、そんな皆さんを、全力でバックアップします。たかだか2週間、でも2週間が自分を大きく変えるきっかけになるかもしれません。

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート

生徒と先生が、一緒に成長していける教室

山本　真義（高殿教室）

皆様こんにちは。高殿教室の山本です。
以前、GROWINGの先生紹介ページに自己紹介を掲載いただいて早4か月、業務にも慣れてきました。その一方で、毎日いろいろな発見があり、いつも新鮮な気持ちで過ごしています。今回は、高殿教室の生徒たちの、学習の様子についてレポートさせて頂きます。

キッズ部門

お昼から夕方は、キッズ部門の時間です。年中さんから小学生まで、たくさんの子供たちがやって来て、珠算部・パスカルキッズ・トーキングキッズの授業を受けます。みんな元気いっぱい！！ドタバタと階段を上ってきて先生にあいさつする姿は、とても可愛らしいです。
そんな子供たちが、授業で集中している時は、グッと真剣な面持ちになります。そして、すごいスピードで成長していきます。私は、珠算部とパスカルキッズの指導に参加しているのですが、「指を動かすのがめちゃくちゃ速くなったなぁ」とか、「難しい問題も一生懸命考えて答えられたなぁ」とか、毎日驚かされることばかりです。先日嬉しかったのが、パスカルキッズのとある生徒のお母様から、「最近家で本を読んでいる時の集中力がすごくて…」と仰っていただいたこと。みんな、よく頑張って、よく伸びています！！

珠算部にて
珠を弾く小気味よい音が教室に響きます

小学部

夕方は、小学部の時間です。小学校高学年の生徒たちが、英語・算数・国語・理科・社会の5教科を勉強します。小学部の子供たちも、元気が良い！新しく学ぶ内容を吸収しようと、いつも全力です。難しい問題には本気で悩み、解けた時は本気で喜びます。
小学部の特徴の1つに、毎月行われる「診断テスト」があります。その月に学習した内容を中心としたテストで、5教科分の成績を集計して、開智全体のランキングが作成されたり、教室の座席が決まったりします。普段の授業も診断テストを意識して進めており、テスト前には予想問題にも取り組みます。生徒たち自身も、各々目標を決めて、自分なりにテストの対策を行います。この「自分なり」のテスト対策を行う習慣が、中学以降の定期テスト対策に繋がります。いろいろ試して、自分に合った学習法を見つけましょう！

小6算数の授業
鋭い眼差しで問題に取り組んでいます

中学部

夜は、中学部の時間です。キッズ部門や小学部の後だと、中学生たちが少し大人っぽく見えることがあります。中学生は、学校で定期テストがあったり、部活動があったりと、小学生の頃から生活がガラリと変わります。活動の幅が増え、自己裁量で決めることが多くなるにつれて、少しずつ大人になっていくのだと思います。
中学1年生の生徒たちは、勉強も部活にもがむしゃらに取り組んで、自分に合う学習スタイルを日々模索しています。2年生は、学習習慣が定まり、少しゆとりが出来てきます。その中で、進路や受験について、徐々に考え始めます。そして、受験学年の3年生。毎日、緊張感を持って勉強に取り組んでいます。夏休み明けからは「受験対策講座」も始まり、授業数が増えましたが、皆、必要性を理解して頑張っています。厳しい受験勉強を乗り越えるからこそ、受験本番で合格できるだけの突破力が身に着きます。皆、冬の寒さを忘れるくらい、熱い気持ちで勉強に取り組んでいきましょう！

自習に取り組む中学3年生
骨折もなんのその、勉強に邁進しています

育ち盛りの生徒たちと過ごす「教室」という場所は、状況が日一日と変わっていきます。より良い教室をつくっていくためには、先生も、生徒に負けないくらい日々成長していくことが必要なのだと、子供たちを見ていると気付かされます。生徒の皆さん、これからも、一緒に頑張っていきましょう！

Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

2025年度大学入試はどう変わる?

熊谷　真宏（カイチ予備校）

早いもので11月になり、今年も残すところあと2カ月となりました。カイチ予備校の高3生たちも今まさに受験勉強の追い込みの時期に入っています。年が明けた1月には大学入学共通テストが行われ、その後1週間ほどですぐに私立大学の一般選抜が始まり、さらに2月末には国公立大学の前期試験があります。このように、年が明けたら怒涛の勢いで日々が過ぎていくので、受験生たちには悔いが残らないように限られた時間を有効に使ってほしいと思います。

さて、「大学入試」といえば1月～2月に行われる大学入学共通テストや各大学の一般入試をイメージする方が多いかと思いますが、実はそれよりも一足早く行われる入試があります。それが「総合型選抜」（旧AO入試）と「学校推薦型選抜」（いわゆる「推薦入試」）です。そのうち、学校推薦型選抜には「指定校推薦」と「公募推薦」の2種類あり、公募推薦が実施されるのは11月～12月初旬で、今まさに各私立大学で入試が行われているところです。現在、私立大学に通う学生のうち6割近くが総合型選抜・学校推薦型選抜を利用して入学しており、国公立大学の学生においても約3割がこれらの選抜方法を利用しています。ひと昔前までは一般入試で入学するのが主流でしたが、今ではこういった入試がより一層存在感を強めているのです。

このように大学入試は年々大きく様変わりしてきており、常にアンテナを張っておく必要があります。「大学入試なんてまだ先の話」と思われるかもしれませんが、大学受験は「情報戦」という側面もあるため、早いうちから大学入試についての情報収集をしておくことが非常に大切です。

みなさんは現在の高1の学年から大学入試が大きく変わるという話を聞いたことがあるでしょうか？学習指導要領の改訂が2020年度を皮切りに小学校から実施されてきましたが、今年から高校でもついに新学習指導要領に基づいた授業が始まりました。これにより教科や科目編成が一新するだけでなく、学び方も大きく変わり、大学入試の内容も大きく変わることになります。現在の高1が受験する2025年1月の大学入学共通テストから、新学習指導要領に基づいた形でのテストが本格的に実施されるのです。

文部科学省は、2025年度の共通テストについて試験科目と試験時間を公表しています。（右図参照）試験科目数については、問題作成や実施関係者の負担や経費を削減する目的で現在の30科目から21科目に減らすことが決まっています。その中で新教科として加わる「情報」については、当初はCBT（Computer Based Testing）で実施する案が出ていましたが見送りとなり、従来通りのPBT（Paper Based Test）での実施となるようです。ただし、実際に試験科目として大学が活用するかどうかは未定となっています。

「理科」のうち、「基礎理科」（物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎）の4科目については、共通テストの科目が統合され1科目となりました。これまでは「基礎理科」と「物理」「化学」「生物」「地学」の4科目は別の時間帯に試験が行われていましたが、今後は同時間帯で行われることになります。ただし、「基礎理科」を受験する場合は従来通り「物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎」のうち2分野を選択する形となるため、時間帯の変更以外は受験生に実質的な影響はありません。

「地理歴史」「公民」は科目が全面的に変わって、「歴史総合」「地理総合」「公共」「歴史総合、日本史探究」「歴史総合、世界史探究」「地理総合、地理探究」「公共、倫理」「公共、政治経済」になります。「歴史総合」は日本と世界の近現代史の融合分野なので、これまでのように「日本史」か「世界史」のどちらか一方だけ勉強すればいいのではなく、両方とも学ぶ必要があります。また、2科目選択の場合には、たとえば「歴史総合」と「歴史総合、日本史探究」の組み合わせのように、同じ名称の科目を同時に選択することはできないという決まりがあるので要注意です。

試験時間に変更があるのは『国語』で、現在の80分から90分に延長されます。2021年度入試から実施されている共通テストでは複数の文章が提示されて読解量が増加するなど、読解力や思考力、判断力を問う傾向が強まっています。2025年度入試以降は思考力系の問題をさらに工夫することが予想されるため、これまで以上に思考力系の問題への対応が必要になってきます。大学入試センターは、従来の<現代文2題、古文1題、漢文1題>という構成に加えて大問が増える可能性があることを公表しています。

他に試験時間に変更があるのは『数学Ⅱ、数学B、数学C』です。こちらは現行の『数学Ⅱ』や『数学ⅡB』が60分であるのに対し、70分に延長されます。『数学Ⅰ・数学A』や『数学Ⅰ』が共通テスト初年度から70分で実施されているため、2025年度の共通テストからは数学の試験時間がすべて70分で統一されることになります。

このように共通テストで出題される教科・科目は決まってはいるのですが、各大学がどのように入試を行うかについてはまだ発表していないため、入試全体としては未だ不透明な部分が多いというのが実際のところです。共通テストでどの科目を課すのか、また個別試験でどの科目を課すのかについてはまだ明らかになっていません。大学が入試制度を変更する際には、原則2年前に予告しなければならないという「2年前ルール」と呼ばれるものがあります。このルールの存在によって入試に必要な教科・科目が公表され、生徒の受験準備に支障が出ないようになっているのです。2022年度の高1を基準にして考えると、高3で大学を受験する年（＝2025年）の2年前、すなわち高2になる前（＝2023年）までに各大学は入試制度の変更について予告することになっています。したがって、2022年度末までには各大学から共通テストや個別試験でどの教科・科目を課すのか明らかにされる予定となっているので、今後の大学入試の最新情報にぜひ注目してみてください。

2025年度共通テスト 出題教科・科目

教科	出題科目		試験時間
国語	「国語」		90分
地理歴史	「地理総合,地理探究」 「歴史総合,日本史探究」 「歴史総合,世界史探究」	6科目から最大2科目選択	1科目60分 2科目130分 （解答時間120分）
公民	「地理総合,歴史総合,公共」* 「公共,倫理」 「公共,政治・経済」	必履修科目を含む6選択科目へ	
外国語	「英語」 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	1科目選択 英語は筆記・リスニングを選択する試験を実施	80分 ※「リーディング」を使用する試験60分 （解答時間30分）

教科		出題科目		試験時間
数学	①	「数学Ⅰ,数学A」 「数学Ⅰ」	1科目選択	70分
	②	「数学Ⅱ,数学B,数学C」* *「数学B・数学C」については、第2部の出題範囲から3項目を選択解答		70分
理科		「物理基礎,化学基礎,生物基礎,地学基礎」* *「ただし2科目から選択解答」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	5科目から最大2科目選択	1科目60分 2科目130分 （解答時間120分）
情報		「情報Ⅰ」	新設	60分

「数学Ⅱ」がなくなる。「数学Ⅱ・B」にCが加わり1科目に